

ながさき

県民児協

だより

103号

令和4年9月発行

目次 Contents

- 1 ヤングケアラーについて P 2～4
- 2 令和3年度長崎県民児協指定モデル民児協報告 P 4
- 3 キラリと光る★わがまち民生委員・児童委員 P 5
- 4 結びあう絆・民児協 176 ～躍動民児協最前線～ P 6～7
対馬市上対馬地区／雲仙市千々石地区
- 5 令和3年度民生委員・児童委員活動保険事故受付状況 P 8
- 6 会議報告 P 8
- 7 令和4年春の勲章・褒章受章者 P 8
- 8 生活福祉資金貸付事業 P 8



<相談技法研修会(傾聴研修)>

臨床心理士 土居隆子先氏を講師に招き、民生委員・児童委員としての相談援助の基本を理解し、グループワークを通して受容的態度や傾聴の技術を学びました。

● ヤングケアラーとは？ ●

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されるような家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことを言います。

一般社団法人 日本ケアラー連盟のヤングケアラープロジェクトでは、ヤングケアラーの具体例として、以下のように紹介されています。



本県における実態調査

長崎県では、県内の全小・中・高校（特別支援学校を含む）の児童生徒を対象として、定期的に「いじめ等のアンケート調査」を実施しています。令和3年度については、令和3年5月から10月の期間に本調査を実施し、調査項目としてヤングケアラーに関するものを盛り込むことにより実態把握を行いました。

【調査結果】

○ 調査実施の児童・生徒 11万8,757名のうち、ヤングケアラーの質問項目に該当した児童・生徒316名（小学生71名、中学生89名、高校生154名、特別支援学校2名）

○ そのうち、学校が、外部機関への相談等が必要と判断した児童・生徒65名、うち市町へ通告・相談した児童・生徒38名

○ 学校が市町へ通告・相談した児童のうち、今回の実態調査を受け、新たに市町へ相談があった児童20名について、どのようなケアをしているかについて調査したところ、「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」との回答が最多（下記は回答の内訳）

| | 小学生 | 中学生 | 高校生 |
|---|-----|-----|-----|
| 障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている | 1 | 1 | |
| 家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている | 5 | 6 | 1 |
| 目を離せない家族の見守りや声かけをしている | 1 | | |
| 病気の家族の看護をしている | 2 | 1 | |
| 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている | 2 | | |
| その他 | 2 | | |
| 計 | 13 | 8 | 1 |

※重複回答あり

■学校から相談を受けた子どもや家庭に対する、市町での支援は下記のとおり

| 市町での対応 | 対応の結果 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●児童・生徒本人と面談 ●保護者と面談 | <ul style="list-style-type: none"> ○要支援児童として支援継続中 ○子ども食堂と連携し、食材や弁当等を提供 ○ホームヘルプサービスを導入 ○支援対象児童等見守り強化事業^(※1)を導入 ○養育支援訪問事業を導入 ○きょうだいの保育所入所支援 ○家庭訪問による支援（清掃活動） ○ショートステイを提案 ○スクールカウンセラーによる面談を開始 |
| 要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関と支援方針を協議 | <ul style="list-style-type: none"> ○要支援児童として支援継続中 ○学校と関係機関との連絡体制を構築 ○母子保健の保健師との連携を強化 |

※1：支援対象児童等見守り強化事業…市町村から委託を受けた子育て支援を行う民間団体等が、要対協の支援対象児童等として登録されている子ども等の居宅を訪問するなどし、状況の把握や食事の提供、学習・生活指導支援等を通じた子どもの見守り体制を強化する事業。

ヤングケアラーが直面する問題

本来大人が担うと想定されるような家事や家族の世話を日常的に行っていることにより、子どもたちにもこのような影響がでる可能性があります。

【学校生活への影響】

○遅刻・早退・欠席が増える、勉強の時間が取れない、部活動ができない等

【進路への影響】

○家族のケアを行うため、希望する進学先や就職先を断念せざるを得ない等

【友人関係への影響】

○友人と遊ぶ時間がないため、交友関係を築きにくく、孤立しやすい等

相談窓口

学校に通えていない、または福祉事業者とのつながりがないなど、家族以外との接触のないヤングケアラーは、特に潜在化しやすいと考えられています。

こうしたヤングケアラーを含め、児童委員、子ども食堂、学習支援等、地域や民間の目で発見・把握することが求められています。

ヤングケアラーかもしれない子どもを発見した場合は、各市町の児童福祉主管課や児童相談所へご連絡ください。相談を受けた相談員やケースワーカー等がその家庭に必要な支援の調整を行うこととなります。



県内市町の児童相談窓口、長崎または佐世保こども・女性・障害者支援センター（児童相談所）の電話番号は、長崎県ホームページにおいて、「こども家庭課 ヤングケアラー」で検索できます。

児童相談所相談専用ダイヤル

TEL 0120-189-783(無料)

子どもヤングケアラー総合相談窓口

TEL 095-893-6266

(一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき内)

県における 令和4年度の取組

① 早期発見、早期支援

◎ヤングケアラーの早期発見と早期支援のため、実態調査を実施します（調査期間6月～10月）。

② 関係団体・関係機関職員研修等

◎ヤングケアラーを早期に見出し支援につなげるためには、福祉、介護、医療、教育等関係機関同士の連携が極めて重要です。そのため、関係団体、障害福祉サービスおよび介護福祉サービス等の従事者に対する研修等を実施する予定です。

③ 広報啓発

◎ヤングケアラーについては、令和2年度「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」における国の調査で、中高生の8割以上が「ヤングケアラーについて、聞いたことがない」と回答しており、ヤングケアラーを早期に発

見して適切な支援につなげるためには、子ども自身はもちろん、周囲の大人も含め、ヤングケアラーの社会的認知度を向上させることが極めて重要です。

◎国においても、令和4年度から3年間を「集中取組期間」とし、ヤングケアラーの社会的認知度の向上に集中的に取り組むこととしており、年間を通じて、様々な広告媒体を活用した広報啓発を行うこととなっています。

◎本県においても、庁内関係各課と連携した広報啓発（8月・県庁1階県政資料閲覧エリアにおける企画展および一般県民向け講座）、関係機関広報紙における広報啓発、国作製のポスター・リーフレットによる広報啓発を行う予定です。



令和3年度長崎県民児協指定モデル民児協報告

この事業は、長崎県民児協が単位民児協の充実強化につながる活動をモデル事業として指定し、助成を行うものです。

令和3年度は、佐世保市大野地区民児協を指定して10万円の助成を行いました。同民児協から提出された状況報告書に基づいて、その活動を報告します。

佐世保市大野地区民児協

「親子の居場所・母親の不安やストレス解消に向けての取り組み」

～一母親の要望から30年、コロナ禍でも努力を重ねてきた活動～

平成5年に一母親の要望から始まった「ちびママ倶楽部」は、大野地区福祉推進委員会の取り組みとして民生委員が主体となって活動しています。



活動の様子



活動の様子

しかし、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加者が0（ゼロ）の日や中止を余儀なくされる中、試行錯誤を重ねて参加者を増やす努力を続けてきました。今回、県民児協のモデル事業からいただいた助成金でスマートフォンを購入し、SNSを通じて開催の予定や開催時の様子をタイムリーにお知



活動の様子

らせることが可能となりました。これに伴い開催の機会や参加人数も増え、SNS利用の効果が出ていると実感しています。また、民生委員間の連絡網としてラインを活用しており、とても助かっています。

今年はまだ少ない回数ではありますが、親子の外出の場や子供の成長期に必要な触れ合いやコミュニケーションの機会を提供できたことは、大変有意義だったと思います。今後もSNSを活用し、参加者にも意見を求めながら潜在しているニーズに答えていければと考えています。

令和5年度の長崎県民児協指定モデル民児協の募集は12月頃行う予定です。

キラリと光る

キラリ★
vol.03

わがまち民生委員・児童委員

県内で先駆的な活動や工夫している活動、おもしろい取り組みや珍しい取り組みなどなど、わがまちで「キラリ★」と光る民生委員・児童委員の情報を紹介します！



西海市西彼地区民児協
副会長 兼 障がい者部会長

よこやま よしこ
横山 義子 さん

○民生委員在任年数 6年
趣味は旅行なのですが、コロナでどこにも行けず…今はおいしい物を求めてドライブを楽しんでいます。バラの花が咲く季節には、散歩を兼ねて「バラ鑑賞」で癒されています。



「笑顔と元気な挨拶を届けます。」

福祉施設などで看護、介護に関わってきました。体調を崩し、退職と同時に民生委員の話をいただき、役に立つならと引き受けました。定期的に行く訪問先では、つい長話をしてしまいます。帰り際に、「また来んばよ」「あなたと話す元気になったよ」と言われ、民生委員になってよかったと思います。

コロナで活動を制限されていますが、毎朝、地域の子どもの登校見守りと、月2回、小学校を訪問し、あいさつ運動を行うことで、子どもたちから元気をもらっています。これからも元気な挨拶・笑顔の訪問を心がけ活動を続けていきたいと思っています。

松浦市福島地区民児協
会長

ながた としこ
永田 俊子 さん

○出身 松浦市福島町
○民生委員在任年数 23年



「子どもたちの安全・安心を願って！」

夏休みを前に、「子どもたちが安全に楽しい夏休みを過ごすために私たちが出来る事」の話し合いの結果、危険箇所を立て札を立てる事になった。まずは民生委員一人一人が担当地区の通学路・農業用の溜め池、河川、用水路などを点検。それをもとに私たちの立て札作りが始まった。「上手に出来なくても、子どもたちへの思いは通じる！」とそれぞれが出来事を頑張った。民生委員全員が心をつにした光景がそこにあった。夏休みには間に合わなかったが、二学期には通学路に、溜め池、河川、用水路の側に、描いた絵と共に「よくみてね！人もクルマも右・左！」「あぶない！そこであそんじゃダメ！」と書いた立て札が子どもたちを見守ってくれています。

雲仙市千々石町民児協

きど みえこ
城戸 三枝子 さん

○民生委員在任年数 2年6ヵ月



「子どもたちを見守り続けて」

母子推進員に16年間携わり、子どもたちがお母さんのお腹にいる頃から、乳幼児期、少年期、青年期へと健やかな成長を見守り、ご家族と悩みや喜びを共有させていただきました。この経験を生かしてほしいと、雲仙市千々石町にある児童障害福祉通所施設「こぼの空」の支援員の依頼を受けました。子どもたち一人ひとりと向き合うことで自分自身を見つめなおすことも多々あり、感謝の毎日です。主任児童委員のお話をいただいた際はお受けする自信が無かったのですが、これまでの経験を生かして社会福祉の増進に尽力させていただきたいと思っています。

五島市福江地区民児協
単位民児協会会長

むらなか きよし
村中 清志 さん

○出身 五島市福江地区
○民生委員在任年数 6年6ヶ月
○勤務経歴 五島市役所
○好きなスポーツ 空手一筋



「『腹が減っては…』高齢者の立場に立って」

民生委員は、地区の前任者から「交代でお願いできないか」と持ち掛けられ、自分にできることならと引き受けました。

公務員としての経験と知識を生かし、高齢者の見守りや声掛けに出来るだけ取り組み、専門機関への“繋ぎ”を意識しながら、ボランティア弁当の配達などの活動にも積極的に協力しています。

今後も、経済的あるいは健康問題で困っている人々たちへの支援を継続するとともに、コロナ禍が終息し、本来の民生委員活動ができるように希望を持ちながら、今できる活動を続けていきます。

【対馬市上対馬地区民児協】

人口：3,404人 世帯数：1,775世帯
 高齢化率39.0%（令和4年4月30日現在）
 地区担当委員 18名 主任児童委員 2名

対馬市は、南北に82km、東西に18kmと細長く、面積は約700km²で山林が面積の89%を占める自然豊かな島です。対馬市は6町で構成されていますが、我が上対馬地区民生委員児童委員協議会は、対馬市の最北端に位置します。

定例会

年間の活動は、年3回の定例会において、委員相互の情報交換及び講師、市役所等により情報提供等をいただき、委員の資質向上を図っています。また、毎月の委員活動報告書については、期限内提出を徹底しています。



看板作成

① 主な取り組み

① ボランティア活動は、上対馬地区の国道、県道、市道の路肩に昭和60



定例会の様子



空缶拾い

②

女性部による活動は、地域の特別養護老人ホームを訪問し、施設周りの草取り、委員持ち寄りによる雑巾等の提供をしています。さらに、二地区で開催されるサロン活動等を通じて地域の高齢者の引きこもり防止のための交流を行い、地域に貢献しています。

年頃から現在まで約40年間、ゴミ、空き缶投げ捨て防止の看板設置及びポイ捨ての空き缶・ゴミ拾いも年1回委員総出で実施しています。

③

福祉教育活動として、学校行事等（入学式、卒業式、運動会）に積極的に参加し、教職員、児童生徒との交流を図っています。「あいさつプラスワン運動」強化月間には、各校区小学生の登校時間に合わせて立哨し、児童生徒への声掛け等を行っています。



女性部サロン活動

今後の取り組み

近年はコロナ禍で十分な家庭訪問活動は出来ませんでした。今年度初めから対馬市による要援護台帳更新・新規登録申請の業務を民生委員児童委員が請け負い、訪問活動を行いました。そのことにより地域の皆さんの実情把握ができたため、今後の委員活動に生かしていけると思います。

（対馬市上対馬地区民児協

会長 八島 倍文）



女性部会 花いっぱい運動

【雲仙市千々石地区民児協】

人口：4,406人 世帯数：1,839世帯 高齢化率35.9%
地区担当委員 13名 主任児童委員 2名

雲仙市千々石町は、長崎県の南東部、島原半島の西部、雲仙市の中ほどに位置し、東に雲仙岳の峰々を、西に橘湾を望む自然豊かな地において、農業や商業などを中心とした産業が営まれています。地区の人口や世帯数は減少傾向にあり、高齢化率は高く、特に高齢者のみの世帯や独居高齢者世帯が増加していることから、雲仙市でも「地域共生社会」の実現に向けた社会福祉制度の改革が進められており、多様な支援が検討されています。

◆**定例会・各種活動**
定例会は毎月実施し、毎回、雲仙市の福祉課・千々石町総合支所長に参加いただいています。

◆**主な取り組み**
① 地域住民の福祉の増進を目的として、行政や小中学校、自治会、福祉関係団体等との情報交換会事業を、年に3回開催し



情報交換会

ています。

② 地域住民の安心、安全なまちづくりの推進を図るため、地区自治会長会や小中学校長、老人クラブ、婦人会、雲仙警察千々石駐在所、社協及び行政との意見交換を行います。

③ 行政の様々な福祉施策等に対する理解を深め、相互理解を図るとともに、今後の民生委員児童委員活動に資することを目的として雲仙市福祉関係各課及び千々石総合支所と意見交換を行います。地区内の児童・生徒の

④ 健全育成推進の一環として、小中学校長との情報交換を行い、相互の連携をより一層深めるための取り組みとして実施をしています。

⑤ 広報活動にも力を入れており、「千々石町民生児童委員だより」を、4月に町内全世帯へ配付し、民生児童委員の活動の周知を行っています。高齢化が進んでおり、民生委員の負担軽減をしながら、相談しやすい環境づくりに取り組みんでいます。

⑥ 民生児童委員の訪問時のサポート資料として、委員さんから手ぶらでは訪問しにくいとの話をきつかけに、「お元気ですか」を20種類ほど準備して定期的な訪問がしやすい環境づくりをしています。

⑦ 町内小中学校において、地域住民、児童・生徒の交通安全意識の向上と「あいさつの定着」を図ることを目的に「ふれあいあいさつ運動」を年に3回実施しています。

⑧ 社会福祉協議会への協力事業として、独居高齢者福祉パトロール事業として（要援護高齢者友愛訪問）年2回行っています。

雲仙消防署への協力事業として、独居高齢者宅を雲仙消防署の職員とともに訪問し、消防士から見た視点での注意点を話してもらい、安全な生活に寄与しています。

千々石町農業研究会の事業への協力とし、敬老の日に合わせて一人暮らし高齢者宅を訪問し、農



ふれあいあいさつ運動

⑨ 業青年たちが育てた農作物を配り、安否確認を行っています。

⑩ 高齢者訪問時に、雲仙市取り組みの「いのちのカプセル」の記入変更がないか確認しています。「いのちのカプセル」とは、緊急時や災害時などに救助者が迅速に対応できるように、既往症などを記載した安心カードを、自宅の冷蔵庫に保管しておくもので、雲仙市はこの「いのちのカプセル」を65歳以上の高齢者や障がいのある人を対象に配布しています。

◆**今後の取り組み**

独居や二人暮らしの高齢者世帯が増えており、地域課題の多様化も進む中で、民生委員の負担が年々大きくなっています。そのような状況下で活動を続けていくためには、関係団体との連携・情報交換の機会が重要です。生活弱者に的確に対応できる基盤づくりに努めていきたいと思えます。

（雲仙市千々石地区民児協

会長 林田 秀美）

令和3年度 民生委員・児童委員活動 保険事故受付状況(報告)

全国民生委員児童委員連合会の報告によれば、令和3年度における全国の事故受付件数は356件であり、令和2年度(299件)と比較して19%増加しています。最も多い事故は、本人の負傷のうちの「骨折」で162件でした。

令和3年度における長崎県の事故受付件数は3件であり、令和2年度(6件)と比較して半減しています。事故の具体的な内容は、「大雨の中、民生委員が独居高齢者宅に向かう途中、用水路に落ちて死亡した事故」、「民生委員活動の準備中に公民館入口の段差で転倒して骨折した事故」などでした。

なお、令和2年2月から民生委員・児童委員活動保険の補償内容が改訂され、「委員活動中に新型コロナウ



イルス感染症にり患した場合」も補償対象となりました。ただし、まずはウイルスに感染しないことが大切です。感染予防策をしっかりと行いながら活動するよう心掛けてください。

会議報告

【監査】

令和3年度事業報告(案)および令和3年度会計決算(案)について監査が実施され、監事より業務は適正に実施され収支の状況を正しく示しているものと承認されました。

【第1回正副会長会議】

令和3年度事業報告(案)および令和3年度会計決算(案)、令和4年度長崎県民生委員児童委員活動研究大会について協議されました。

【第1回委員会】

令和3年度事業報告(案)および令和3年度会計決算(案)、令和4年度事業進捗状況について等すべての議案について承認されました。

令和4年春の 勲章・褒章受章者

(現任民生委員・児童委員) 本会より4名の方が

受章されました

《社会福祉功労》

【瑞宝単光章】

松尾 友宏様(諫早市)

令和4年7月ご逝去

《社会福祉功労以外の功労》

【旭日双光章】

立石 光徳様(五島市)

【瑞宝単光章】

大平 勝喜様(長崎市)

白石 くみ子様(平戸市)

おめでとうございます。

1002号お詫びと訂正

前回発行の1002号P5キラリと光るわがまち民生委員・児童委員において一部誤りがございました。

【誤】 島原市三会地区民生委員

児童委員協議会

会長 中村久美子さん

【正】 島原市三会地区民生委員

児童委員協議会

中村久美子さん

お詫びして訂正いたします。

生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付事業において、民生委員・児童委員には貸付にあたっての広報周知や世帯の状況把握、貸付後の継続的な相談支援や、見守り、励まし等の役割を担っていただくことが期待されています。

長崎県の最近3年間の生活福

生活福祉資金貸付事業は、左表のとおりです。ここ数年の傾向としては、新型コロナウイルス特例貸付を除く教育支援資金においては、奨学金制度の充実が図られ、件数は減少しています。ただし、1件あたり

生活福祉資金貸付事業の貸付決定状況(長崎県)

(決定額単位:千円)

| 年 度 | | R元年度 | R2年度 | R3年度 | |
|-------------------------------|---------------------------|---------|-----------|-----------|--------|
| 総合支援資金 (新型コロナ特例貸付) | 件数 | 6件 | 6,578件 | 7,874件 | |
| | 決定額 | 1,318 | 3,482,191 | 4,219,770 | |
| 福祉費 | 件数 | 88件 | 76件 | 80件 | |
| | 決定額 | 63,246 | 62,741 | 81,867 | |
| 福祉資金 | 緊急小口 資金 (新型コロナ特例貸付) | 件数 | 27件 | 7,581件 | 4,291件 |
| | 決定額 | 4,700 | 1,432,946 | 837,680 | |
| 教育支援資金 | 件数 | 325件 | 357件 | 305件 | |
| | 決定額 | 257,265 | 322,320 | 314,780 | |
| 不動産担保型 生活資金 (要保護不動産を除く) | 件数 | 0件 | 0件 | 0件 | |
| | 決定額 | 0 | 0 | 0 | |

(長崎県社協生活支援課 作成)

編集後記



「周りの大人がおせっかいでもよいかから積極的にかわってほしいかった。」これは、NHKで放映された元ヤングケアラーの実際の言葉です。今回は、「ヤングケアラー」を特集しました。民生委員として関係機関と協力しながら早期発見、早期対応する包括的支援を目指しているのですが、支援メニューへの流れすら分からないのが現状ではないでしょうか。その中の一つでもお示しできればと願っています。

(西彼杵郡通信員・編集委員 林田 薫)